

# — JR 東水巻駅周辺等整備基本構想 【概要版】 —

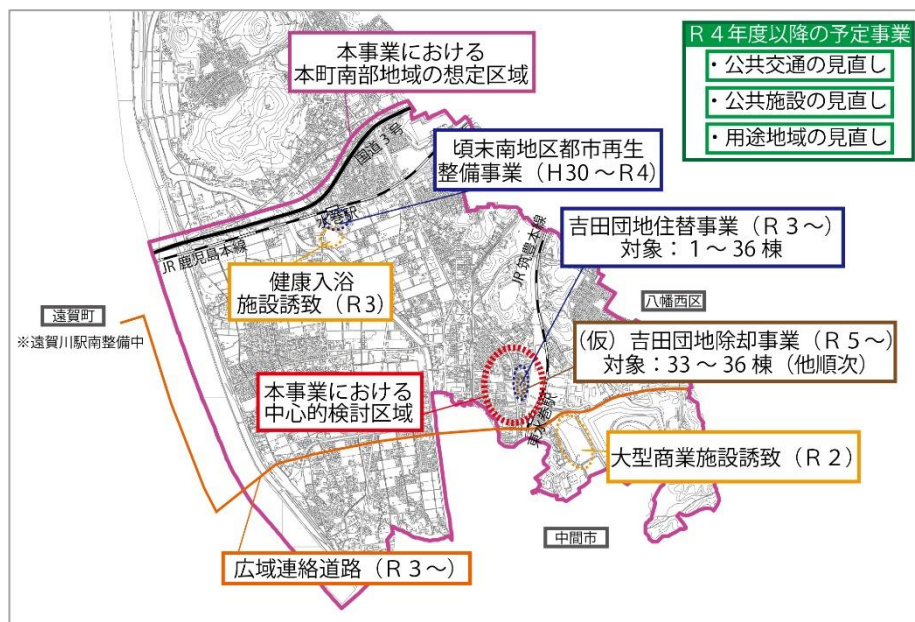
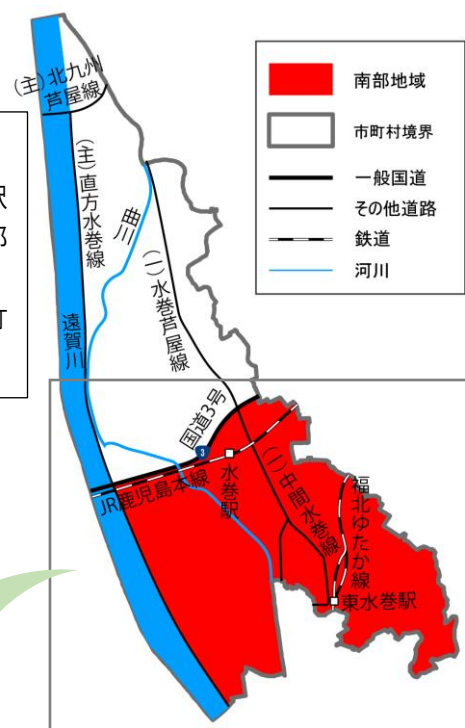
## ■ 1. はじめに

### (1) 基本構想策定の目的

- 「2022 水巻町都市計画マスタープラン【改訂版】(令和4年3月/水巻町)」において、JR 水巻駅は都市拠点、JR 東水巻駅は生活拠点に位置づけている。
- 都市拠点である JR 水巻駅周辺は開発により生活利便施設等の各種機能を有するものの、生活拠点である JR 東水巻駅周辺は各種機能が十分に満たされていないため、駅周辺としてポテンシャルが活かされていない。
- そこで、JR 水巻駅周辺も踏まえつつ、JR 東水巻駅周辺を中心に、水巻町における国道3号以南の地域を対象としたまちづくり構想を策定する。

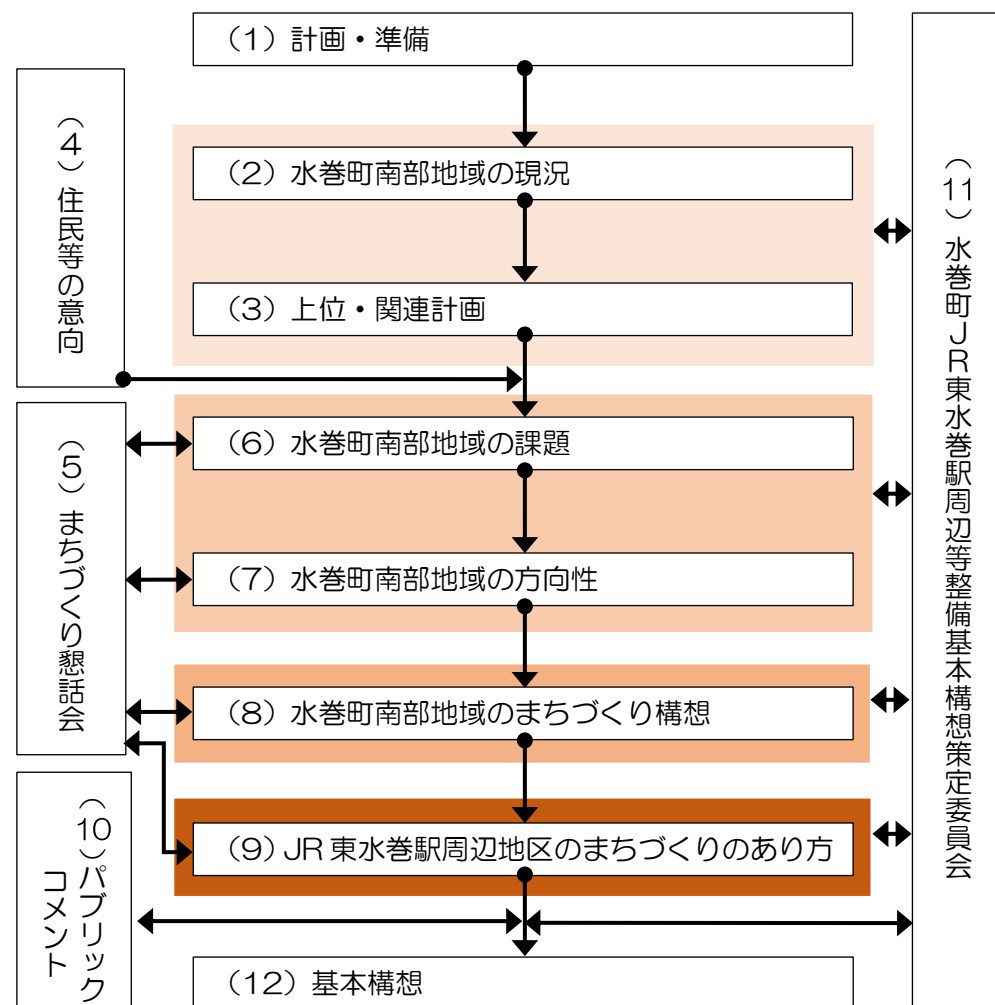
### (2) 検討対象

検討対象地域  
生活拠点である JR 東水巻駅周辺を中心とした水巻町南部地域  
(検討にあたっては、水巻町全域を考慮)

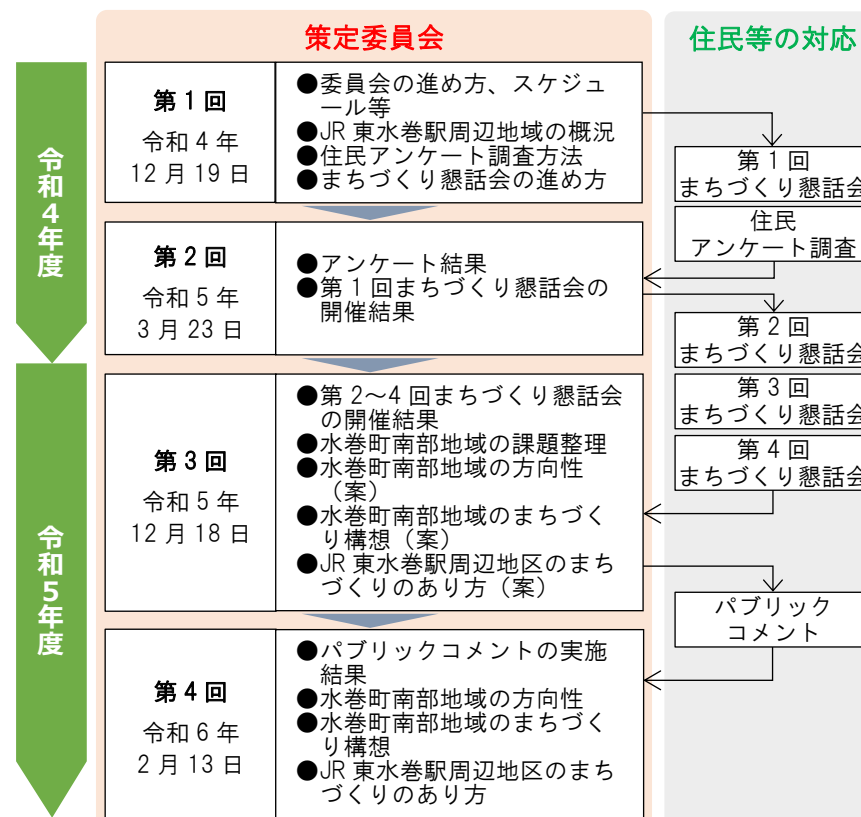


▲ 検討対象地域

## (3) 基本構想策定フロー



## (4) 策定委員会と住民等の対応



## ■ 2. 水巻町南部地域の現況

水巻町の概要	位置づけ	・北九州都市圏のベットタウンとして発展
	周辺都市との繋がり	・通勤・通学ともに、北九州市への流動が多い ・日中は町外への通勤・通学が多い(流出>流入)
	用途地域と施設立地	・中心拠点・生活拠点及び周辺地区は商業系土地利用、その他地区は概ね住宅地を形成 ・町内各地に大型商業施設を有し、JR 東水巻駅周辺でも近年開業
	道路交通の状況	・東西に横断する国道3号、南北に縦断する(一)水巻芦屋線・(一)中間水巻線・(主)直方水巻線による主要な道路網を形成 ・都市計画道路として(都)砂山丸の内線・(都)古屋伊左座線が東西軸を強化
水巻町南部地域の位置づけ	公共交通の状況	・鉄道は JR 鹿児島本線・JR 筑豊本線 (JR 福北ゆたか線) を有し、周辺都市や福岡市・北九州市等との連絡を多頻度で確保 ・バスは北九州市営バス (北部線・南部循環線)、水巻福祉ゆめあいバス (東回り・西回り・南北線) ・北九州市営バス (北部線) は水巻町と折尾方面を連絡し、その他路線は町内各地を結ぶ
	人口・世帯数	・中心拠点の JR 水巻駅周辺と生活拠点の JR 東水巻駅周辺を中心としてまちを形成 ・道路網は、南北軸として(一)中間水巻線が整備され、東西軸として遠賀川の渡河橋を含む(一)中間水巻遠賀線 (都市計画道路の変更 (R5.12 時点未整備) により位置づけ) が計画
人口・世帯数	人口の推移	・町全体と南部地域ともに平成12年以降減少傾向 ・南部地域は町全体の人口減少幅よりも小さい
	年齢区分別人口の推移	・町全体と南部地域ともに、高齢者人口は増加、生産年齢人口は減少、年少人口は近年微増
	世帯数の推移	・世帯数は町全体と南部地域ともに微増傾向 ・なお、1世帯あたり人員は町全体と南部地域ともに微減傾向
	人口分布 (全世代)	H27→R2 増減: 猪熊地区や JR 水巻駅・東水巻駅周辺地区で増加 R2→R22 (将来) 増減: 南部地域全体で大幅な減少
土地利用の状況	年少人口分布	H27→R2 増減: 猪熊地区や下二・立屋敷・伊左座地区での増加が顕著 R2→R22 (将来) 増減: おかの台・牟田地区や吉田東・宮尾台地区での増加に対して、下二・立屋敷・伊左座地区での減少が顕著
	生産年齢人口分布	H27→R2 増減: JR 水巻駅周辺での増加が顕著 R2→R22 (将来) 増減: 町全体での減少が著しい
	高齢者人口分布	H27→R2 増減: 町全体で増加傾向 R2→R22 (将来) 増減: 古賀・猪熊地区や宮尾台・伊左座・二西地区で増加 (南部地域の増加は局所的でその他地区は減少)
市街地の拡大状況	用途地域の状況	・南部地域の用途地域は、住居系 84%、商業系 4%、工業系 12% ・なお、商業系用途地域は JR 水巻駅周辺・(一)中間水巻線沿線・JR 東水巻駅周辺等で指定
	空き家の状況	S62→R3: JR 水巻駅北側地区や吉田西・下二西・立屋敷・伊左座・二東・二西地区で土地利用が拡大 ・JR 東水巻駅周辺は S62 以前より市街地を形成
	市街地の拡大状況	・町全体に分布 ・約 8~9 割が住居系用途地域に分布



■ 3. 上位・関連計画

将来像・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>北九州市を中心とする多心ネットワーク</li> <li>コンパクトで誰もが快適に暮らすことのできる安全・安心の環境</li> <li>子育てにやさしい、居心地いい、働きやすい</li> </ul>	
人口・居住	<ul style="list-style-type: none"> <li>町営住宅のあり方等の検討を踏まえた長寿命化・更新・縮小・廃止等、施設の最適化</li> <li>空き家の解決・未然防止や転入者へ住居活用</li> <li>移住定住の促進</li> </ul>	
土地利用	住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>町営住宅の老朽化への対応</li> <li>民間企業の力を利用した宅地造成・分譲</li> </ul>
	農地・集落	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の形態を保持し、無秩序な市街化を抑制</li> </ul>
	商業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道駅周辺等の拠点は商業業務地とし、必要に応じて住宅と医療・福祉施設等の複合系施設を配置</li> <li>(一)中間水巻線沿線は店舗・事務所等の各種機能を集積</li> <li>(都)古屋伊左座線沿線への商業施設の誘致</li> </ul>
工業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉田工業団地は現在の工業系土地利用を維持</li> </ul>	
拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市拠点：JR 水巻駅周辺、生活拠点：JR 東水巻駅周辺、産業拠点：吉田工業団地</li> <li>駅周辺ににぎわい施設等を整備</li> <li>JR 東水巻駅エリアでの吉田地域のまちづくり</li> <li>JR 東水巻駅西側は、町営住宅の跡地利用による駅前広場の整備等の交通結節機能強化</li> </ul>	
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR 水巻駅・東水巻駅への駅前広場・街路の整備による、玄関口にふさわしい交通結節点の形成</li> <li>JR 各路線の利便性向上とバス路線の維持</li> <li>公共交通ネットワーク(バス路線)の確保・維持</li> </ul>	
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点間を結ぶ公共交通軸等の幹線道路を適切に配置した道路ネットワークの形成</li> <li>南部地域は重点的に利便性及び安全性確保のための交通環境を整備(歩道未整備区間が多い)</li> <li>(都)古屋伊左座線(未整備)は、近隣市町との交流・連携を促進する幹線道路としての整備を優先</li> </ul>	
緑地・公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近で様々な種類の公園・緑地等を整備</li> <li>遠賀川河川敷公園の改修・整備(憩いの場)</li> </ul>	
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然景観や調和のとれた良好な街並み景観及び歴史・文化的な景観の保全・育成</li> </ul>	
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所等の様々な機能を有する公園・緑地等の積極的な確保と適正な維持・配置</li> <li>避難路となる道路の維持・整備</li> <li>建物の不燃化・耐震化の促進</li> <li>防犯・防災の取組みによる子育て環境の充実</li> </ul>	
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館、スポーツ・レクリエーション施設、子育て支援施設、高齢者・障がい者施設等の集約化・複合化</li> <li>いきいきほーるの有効活用、新サービス導入</li> <li>子育て支援拠点施設の広域利用の推進</li> <li>3歳未満児の受入れ保育施設の整備</li> </ul>	

■ 4. 住民等の意向

◆町内アンケート結果◆																	
地域の現状・課題	回答者全体 満足： <u>居住環境、買い物のしやすさ</u> 、自然環境 不満： <u>歩道等での歩行者・自転車の安全性、公共交通の利便性</u> (※下線部は今後の重要度が高い項目) 今後優先的な注力項目： <u>公共交通の利便性、歩行者・自転車の安全性確保、生活道路の整備、防犯対策、防火・防災対策、福祉施設の充実、通勤・通学のアクセシビリティ</u>																
	40歳未満 ※回答者全体の傾向に加え、下記の重要度の高さが顕著 ・子育て支援サービスの充実、育児施設の利用しやすさ、教育施設の充実、児童館等の施設の利用しやすさ、公園の充実																
南部地域のまちづくり	将来都市像(上位5位) <table border="1"> <tr> <th>水巻駅周辺</th> <th>必要施策(上位5位)</th> </tr> <tr> <td>                     ①公共交通の整備                      ②店舗が集まる賑わい・活気                      ③交通結節が整っている                      ④歩行者の交通安全が確保                      ⑤良好な居住環境                 </td> <td>                     ①公共交通機関の整備                      ②駅前ロータリーの整備                      ③交通安全対策の充実                      ④商業の活性化                      ⑤生活道路の整備                 </td> </tr> <tr> <th>東水巻駅周辺</th> <th>必要施策(上位5位)</th> </tr> <tr> <td>                     ①公共交通の整備                      ②店舗が集まる賑わい・活気                      ③交通結節が整っている                      ④防犯面に配慮した安全性                      ⑤良好な居住環境                 </td> <td>                     ①公共交通機関の整備                      ②駅前ロータリーの整備                      ③商業の活性化                      ④防犯対策の充実                      ⑤公営住宅の整備                 </td> </tr> <tr> <th>幹線道路沿線</th> <th>必要施策(上位5位)</th> </tr> <tr> <td>                     ①歩行者の交通安全が確保                      ②公共交通の整備                      ③店舗が集まる賑わい・活気                      ④医療・福祉施設が充実                      ⑤道路ネットワークの形成                 </td> <td>                     ①交通安全対策の充実                      ②広域幹線道路の整備                      ③公共交通機関の整備                      ④商業の活性化                      ⑤生活道路の整備                 </td> </tr> <tr> <th>居住エリア</th> <th>必要施策(上位5位)</th> </tr> <tr> <td>                     ①良好な居住環境                      ②防犯面に配慮した安全性                      ③災害や火災に強い                      ④身近な公園の充実                      ⑤医療・福祉施設が充実                 </td> <td>                     ①居住環境の充実                      ②生活道路の整備                      ③防犯対策の充実                      ④公園・緑地の整備                      ⑤高齢者施策の充実                 </td> </tr> </table>	水巻駅周辺	必要施策(上位5位)	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④歩行者の交通安全が確保 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③交通安全対策の充実 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備	東水巻駅周辺	必要施策(上位5位)	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④防犯面に配慮した安全性 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③商業の活性化 ④防犯対策の充実 ⑤公営住宅の整備	幹線道路沿線	必要施策(上位5位)	①歩行者の交通安全が確保 ②公共交通の整備 ③店舗が集まる賑わい・活気 ④医療・福祉施設が充実 ⑤道路ネットワークの形成	①交通安全対策の充実 ②広域幹線道路の整備 ③公共交通機関の整備 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備	居住エリア	必要施策(上位5位)	①良好な居住環境 ②防犯面に配慮した安全性 ③災害や火災に強い ④身近な公園の充実 ⑤医療・福祉施設が充実	①居住環境の充実 ②生活道路の整備 ③防犯対策の充実 ④公園・緑地の整備 ⑤高齢者施策の充実
	水巻駅周辺	必要施策(上位5位)															
	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④歩行者の交通安全が確保 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③交通安全対策の充実 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備															
	東水巻駅周辺	必要施策(上位5位)															
	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④防犯面に配慮した安全性 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③商業の活性化 ④防犯対策の充実 ⑤公営住宅の整備															
	幹線道路沿線	必要施策(上位5位)															
①歩行者の交通安全が確保 ②公共交通の整備 ③店舗が集まる賑わい・活気 ④医療・福祉施設が充実 ⑤道路ネットワークの形成	①交通安全対策の充実 ②広域幹線道路の整備 ③公共交通機関の整備 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備																
居住エリア	必要施策(上位5位)																
①良好な居住環境 ②防犯面に配慮した安全性 ③災害や火災に強い ④身近な公園の充実 ⑤医療・福祉施設が充実	①居住環境の充実 ②生活道路の整備 ③防犯対策の充実 ④公園・緑地の整備 ⑤高齢者施策の充実																
定住・住み替え意向	今後も住み続けたい：約7割<理由>居住環境、買い物の利便性 住み替えたい：約1割<理由>生活道路・幹線道路の整備、歩行者・自転車の安全性、公共交通の利便性																
「住みたい」と望む場所	生活に便利な施設が集まる地区及びその周辺：約7割 <必要な条件>買い物などの日常生活の利便性、医療施設の立地、公共交通の利便性、防犯対策の充実等																
日常行動	通勤・通学：町外(八幡西区・折尾駅周辺)への外出が多い 買い物：町内及び北部・南部地域内での利用が多い →なお、南部地域の伊左座・頃末地区は北部地域への利用が多い 通院：新水巻病院及びその周辺の利用が多い																
◆町外アンケート結果◆																	
水巻町のイメージ	・良好な居住環境・自然への配慮へのイメージが強い ・一方、企業集積・防犯面での安全性・情報化推進へのイメージなし																
「住みたい」と望む場所	生活に便利な施設が集まる地区及びその周辺：約8割 <必要な条件>買い物などの日常生活の利便性、通勤・通学の利便性等																

■ 5. 「JR 東水巻駅周辺地区まちづくり懇話会」の意見

南部地域の魅力・問題点	魅力(上位5位)	①医療サービスが充実(18歳まで医療費無料等) ②生活利便性が高い(町がコンパクト、買い物しやすい等) ③恵まれた自然環境 ④良好なコミュニティ、地域の見守りが豊富 ⑤イベントによる地域活性化(コスモス祭り等)	問題点(上位5位)	①街灯が不足、暗い ②都市施設、生活利便施設が不足(銀行、本屋、複合商業施設等) ③学生・若者の活躍が少ない ④魅力・シンボル性が不足 ⑤鉄道駅(東水巻駅)の機能が不足(駐車場がない、無人等)
	魅力	①東水巻駅の交通拠点としての機能強化 ②シンボル、オリジナリティの創出 ③賑わい・拠点性の創出 ⑤安心して生活できる ⑥居住環境の充実	問題点	①街灯が不足、暗い ②都市施設、生活利便施設が不足(銀行、本屋、複合商業施設等) ③学生・若者の活躍が少ない ④魅力・シンボル性が不足 ⑤鉄道駅(東水巻駅)の機能が不足(駐車場がない、無人等)
世代別に問題点	若者・学生	・通学に便利	・駅周辺での待ち時間対応の場なし ・若者をとどめる魅力なし	
	子育て世代	・伊左座校区のコミュニティ良好 ・地域見守り活動が豊富	・産婦人科・小児救急なし ・北部地域に比べて南部地域は公園・保育施設が少ない	
X世代	・住宅街が多い ・スーパーが多く生活が便利	・鉄道駅の機能不足 ・高齢者以外のサポートが少ない	・地区公民館の立地が悪く不便	
	高齢者	・高齢者のサポートが充実	・地区公民館の立地が悪く不便	
まちづくりイメージ	拠点エリア	交通結節点の機能強化、安全性の確保、利便性の向上、交通円滑性の確保等 東水巻のシンボル創出、東水巻駅舎の活用、他地域との差別化等	人・若者が集まる、町外からの来訪者が集まる、子育て世代を増やす、世代間の交流・コミュニティの創出、拠点施設の整備、生活利便機能・商業機能の強化等 安全性の確保、防犯機能の強化、防災機能の強化等 生活利便性の向上、安心な子育て環境づくり、子育て支援等	
	その他周辺	③賑わい・拠点性の創出 ④地域の活性化 ⑤安心して生活できる ⑥居住環境の充実	拠点性の強化、南部公民館の利活用促進等 イベント開催による活性化、若年世代・学生等の参入促進、集客施設の誘致、魅力・情報の発信等 安全性の確保、防犯機能の強化、防災機能の強化等 移住・定住の促進、生活利便性の向上、安心な子育て環境づくり、子育て支援等	
まちづくりの具体取組内容と実施主体	①東水巻駅の交通拠点としての機能強化	行政：ロータリー等を整備 民間：バス本数を増便等	行政：公園・広場等を整備、地域固有の景観の創出、地域の歴史発信 地域住民：既存の緑を活かす・増やす、地域の歴史発信、イベント開催 民間：名菓をつくる等	
	②シンボル、オリジナリティの創出	行政：交通利便性の確保・向上、コミュニティセンター・公園等の整備、多様なイベントの企画・情報発信、活動の場所・施設整備地の提供、飲食店の誘致 地域住民：地域活動への活発的・積極的な関与(地域役員等)、拠点施設等の魅力アピール、南部公民館の活用検討 地域外の人：地域外からの温泉利用、施設運営への関与(学生バイト) 民間：学生が来やすい場所の整備・PR、放課後預かりサービス等の実施、多様なイベントの企画・情報発信、飲食店の出店(地域内事業者)等	行政：広報の継続(高齢者向け) 地域住民：独自イベントの開催、地域イベントへの参入(学生)、情報発信(学生) 地域外の人：地域イベントへの参入(学生)、情報発信(学生)等	
③賑わい・拠点性の創出	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等		
④地域の活性化	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等		
⑤安心して生活できる	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等		
⑥居住環境の充実	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続等 行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)等		



■ 6. 水巻町南部地域の課題

◆南部地域の課題◆

課題①：地域の特性を活かした居住環境の充実

- ・住みやすさ・買い物のしやすさ・自然環境の良さを活かすとともに、さらなる向上を図りつつ、魅力ある居住環境を形成
- ・生産年齢人口と年少人口の増加に寄与する移住・定住の促進

課題②：多世代循環型まちづくりの創出

- ・生産年齢人口と年少人口の増加に寄与するまちづくりとともに、高齢者にも住みやすいまちづくりを実施
- ・少子高齢化が進む中、年少・生産年齢・老年による各世代が安心・快適な生活を維持し、多世代による循環するまちづくりを創出

課題③：住宅・商業・工業等のメリハリのある土地利用の形成

- ・住宅地、商業業務地（幹線道路沿線商業地を含む）、工業地、農地・集落等の特性を活かした土地利用の形成

課題④：各種の機能拡充・整備による地域の活性化と生活利便性の向上

- ・都市拠点（JR 水巻駅周辺）、生活拠点（JR 東水巻駅周辺）、産業拠点（吉田工業団地）等への必要となる機能の拡充

課題⑤：交通結節機能の向上と公共交通ネットワークの確保・維持

- ・鉄道駅（JR 水巻駅・東水巻駅）において、まちの玄関口としての形成とともに、交通結節機能を向上
- ・南部地域の各エリアからの移動を支援する公共交通機関の確保・維持

課題⑥：町内及び町内外の交流・連携を図る道路ネットワークの形成

- ・町内の各拠点とともに、北九州市や遠賀川で分断される隣接都市との交流・連携を促進

課題⑦：オープンスペースの確保・活用による交流と憩いの場の形成

- ・緑地や公園等、遊休地や空き地等を有効活用し、適正配置・規模によるオープンスペースの確保
- ・人々の交流やふれあい空間の形成

課題⑧：各所のシーンに応じた景観の形成

- ・良好な自然や歴史・文化等の景観の保全・育成
- ・鉄道駅周辺等の人が多く集まる場所において、多様な機能が集積する魅力的で賑わいある景観を創出

課題⑨：安全に安心して暮らせる生活環境の形成

- ・災害時に対応可能な避難路・避難所の確保とともに、防災情報発信の充実と住民への周知による地域防災力の向上
- ・街灯整備や安全性の高い公共空間整備等による防犯性の高いまちの形成
- ・狭隘区間を有する生活道路等への機能拡充と安全性確保

課題⑩：コミュニティの形成や各種まちづくりによる活性化

- ・各世代の交流による良好なコミュニティの形成
- ・企業誘致をはじめ、民間企業による就業の場の形成と地域の活性化

◆JR 東水巻駅周辺地区の課題◆

課題⑪：交通結節点としての機能強化

- ・鉄道及びバスや自家用車等による複数の交通手段の交通結節機能を有することで、南部地域の玄関口としての拠点性を向上

課題⑫：拠点性向上に向けた活気と賑わいの創出

- ・現在の駅周辺のイメージを払拭し、拠点性向上の一環となるよう、人の交流や建物・景観の華やかさ等、南部地域の玄関口としての活気と賑わいを創出

課題⑬：様々な人が集い・交流する空間の形成

- ・町内居住者の通勤・通学・買い物等での利用駅として、また町外居住者がイベント等で訪れる駅として、様々な人が集まり、交流できる拠点空間を形成

課題⑭：利便性と安全性の確保

- ・鉄道駅としての機能を向上するとともに、様々な人が利用できるユニバーサルデザインの導入と様々な人が安全に安心して利用できる空間を形成

■ 7. 水巻町南部地域の方向性

(1) まちづくりの方向性

～コンセプト～

日常と異日常が充実するまち『みずまき』

※異日常とは、ごく普通の日常とは少し違うもう一つの日常を指す

※人の生活において、日常とは異なるもう一つの「異日常」を有することで、幸福度の向上さらには経済の活性化を図る

⇒鉄道駅を中心とした拠点形成を図りつつ、日常・異日常が織りなす、多世代の誰もが安心して暮らせるまちを目指す

⇒住みやすさに向けた各種必要機能を導入することで、各世代への恩恵と、それによる多世代循環を創出し、長期的に持続可能なまちを目指す

(2) まちづくりの視点

視点①：自家用車に依存しないまち

- ・子育て世代や高齢者等のあらゆる世代に対して、歩いて暮らせるまちづくりを目指す
- ・南部地域の各地区において、公共交通網の形成を図る

視点②：各種の機能を有する利便性の高いまち

- ・南部地域の各地区に対して、各種機能（施設）を適正に配置
- ・必要に応じて、公共交通による各種機能（施設）へのアクセス性を確保

視点③：交流による賑わいあるまち

- ・商業・業務機能の位置づけに加え、各種の文化施設の活用や、祭り・イベント等の実施による賑わいあるまちを目指す
- ・町内だけでなく、町外の人々とともに、交流とふれあいのある空間形成を育む

視点④：安全・安心に暮らせるまち

- ・防災に配慮した水害・地震等、災害に強いまちづくり
- ・身近な犯罪を抑止するよう、市街地類型に対応した防犯まちづくりを推進

視点⑤：まちの玄関口としての魅力の形成

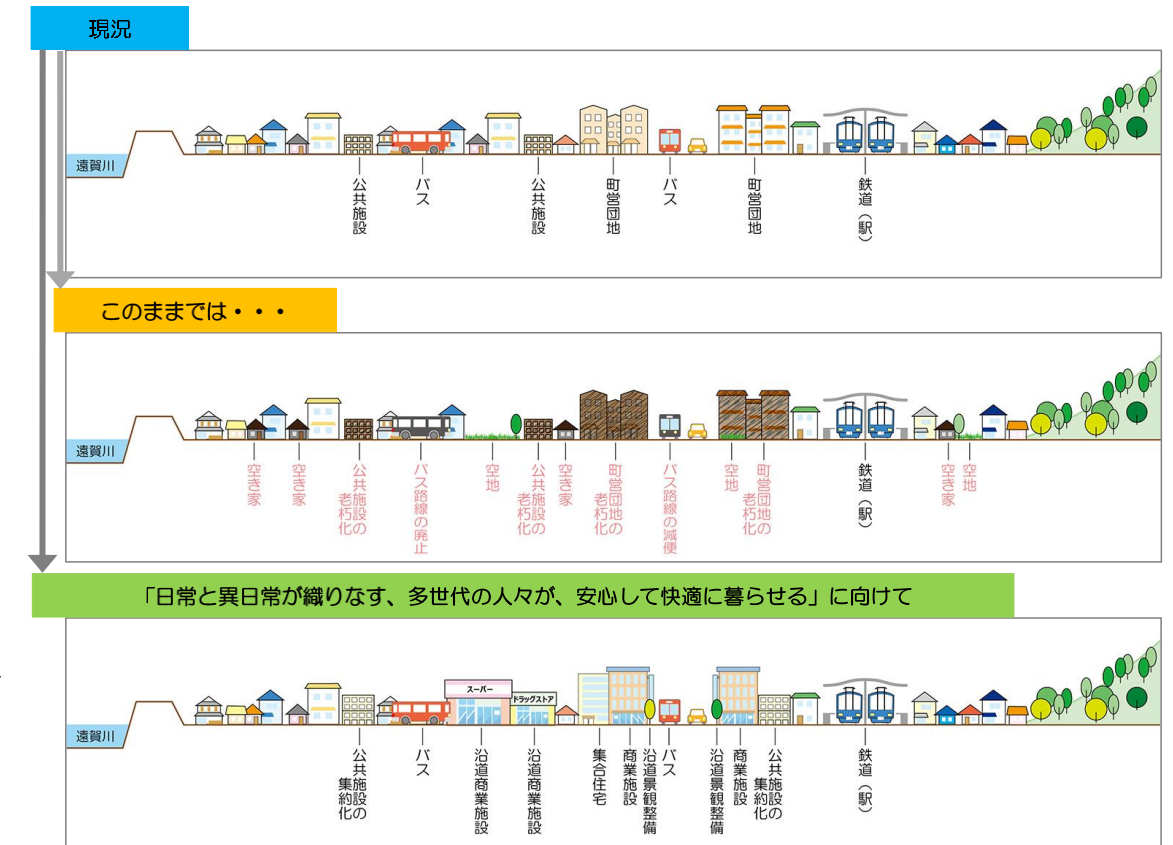
- ・JR 水巻駅・東水巻駅をともに玄関口として位置づけ、駅周辺地区も含めた魅力ある拠点を形成
- ・北九州市（主に八幡西区）等の周辺都市を含む日常生活圏を形成する地域として、JR 東水巻駅の機能強化により、通勤・通学・買い物等の利便性向上を図る
- ・また、JR 東水巻駅周辺への各種機能（施設）の集積を図ることで、町内居住者（ひいては町外居住者も含めて）に対する便利で住みやすいまちを形成

視点⑥：相乗効果によるまちの将来展望

- ・JR 東水巻駅及び周辺地区において、拠点整備による玄関口として機能するまちづくり
- ・その他地区において、人々が安全・安心に暮らせる、生活基盤の整ったまちづくり
- ・JR 東水巻駅周辺地区とその他地区の相乗効果による、南部地域全体としてのさらなる発展を目指す

視点⑦：まちの象徴的な地域資源の継承

- ・遠賀川をはじめ、明神ヶ辻山、豊前坊山、多賀山等の水巻町の象徴的な景観の保全
- ・八剣神社の大イチョウ・堀川の車返しの切貫（ノミ跡）・十字架の塔をはじめ、各地区における神社等の歴史・文化資源の保全



▲まちづくりの方向性を踏まえた暮らしの変化イメージ



■ 8. 水巻町南部地域のまちづくり構想

8-1. 拠点

方針①：南部地域における

**JR 水巻駅・東水巻駅周辺への拠点の位置づけ**  
⇒交通結節点を有する JR 水巻駅・東水巻駅周辺を拠点に位置づけ、南部地域における JR 水巻駅周辺を都市拠点、JR 東水巻駅周辺を生活拠点とした市街地形成を図る。

方針②：JR 水巻駅・東水巻駅周辺における **商業・業務・文化等の機能の集積**

⇒JR 水巻駅周辺地区を都市拠点、JR 東水巻駅周辺地区を生活拠点に位置づけ、拠点を形成する地区として商業・業務・文化等の機能の集積を図る。

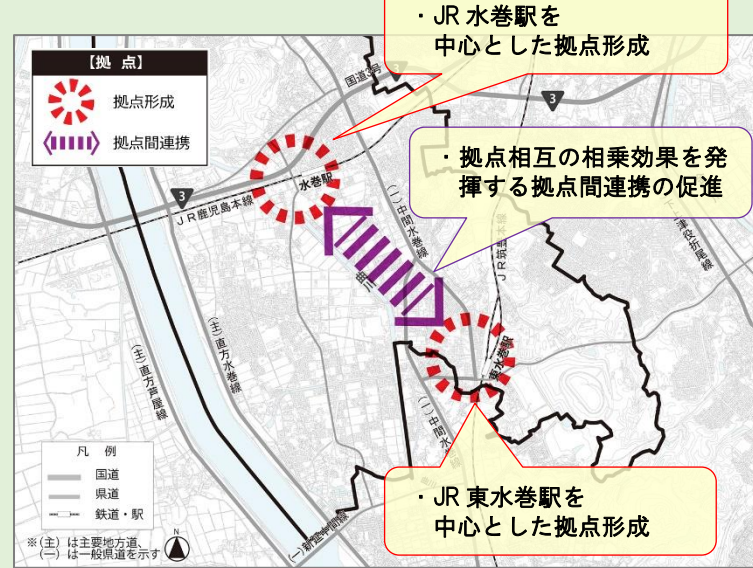
方針③：都市拠点・生活拠点の棲み分けと **連携による相乗効果**

⇒JR 水巻駅周辺地区の都市拠点と JR 東水巻駅周辺地区の生活拠点において、導入する機能等の棲み分けを図ることで拠点間の連携を創出し、拠点間におけるアクセス性と景観や機能等の連続性を確保する。

○JR 水巻駅を中心とした拠点形成

○JR 東水巻駅を中心とした拠点形成

⇒拠点相互の相乗効果を発揮するよう、土地利用や施設配置等のその他の施策を導入することにより、拠点間の連携・交流を促進する。



▲まちづくり構想：拠点

8-2. 土地利用

方針①：JR 水巻駅・東水巻駅周辺における **交通結節機能を活かした各種機能の充実**

⇒鉄道駅を有する JR 水巻駅周辺地区及び JR 東水巻駅周辺地区において、交通結節機能を活かすとともに、各種の機能充実による拠点化に向けたまちづくりを推進する。

方針②：拠点に隣接する **利便性の高い住宅の整備・充実**

⇒都市拠点に（JR 水巻駅周辺地区）及び生活拠点（JR 東水巻駅周辺地区）に隣接することで、利便性の高い住宅の整備及び充実を図る。

方針③：拠点間連携を創出する **一体的・計画的な市街地整備**

⇒各種機能（施設）の適正配置を図りつつ、都市拠点（JR 水巻駅）・生活拠点（JR 東水巻駅）による拠点間連携（アクセス性や相乗効果）を創出するよう、一体的・計画的な市街地整備を図る。

(1) 都市拠点・生活拠点ゾーン

拠点を形成し、周辺地区を含めて商業・業務系機能を有する地区を拠点ゾーンに位置づける。

●都市拠点ゾーン

水巻町の中心となる都市拠点として、JR 水巻駅からラムー水巻店周辺地区を対象

●生活拠点ゾーン

南部地域の生活拠点として、JR 東水巻駅からスーパーセンタートライアル東水巻店周辺地区を対象

(2) 賑わいゾーン

地域内幹線道路の沿線において、後背地の住宅地に対する利便性向上を図る施設の立地により、華やかさや活気を演出する賑わいゾーンに位置づける。

●(一)中間水巻線沿線

JR 水巻駅周辺地区（都市拠点）と JR 東水巻駅周辺地区（生活拠点）との各拠点間の連携を図る(一)中間水巻線の沿線地区を対象

●(一)中間水巻遠賀線（計画路線）沿線

JR 東水巻駅周辺地区（生活拠点）と接続するとともに、遠賀川の渡河橋を介して遠賀町等との交流・連携を図る(一)中間水巻遠賀線（計画路線）の沿線地区を対象

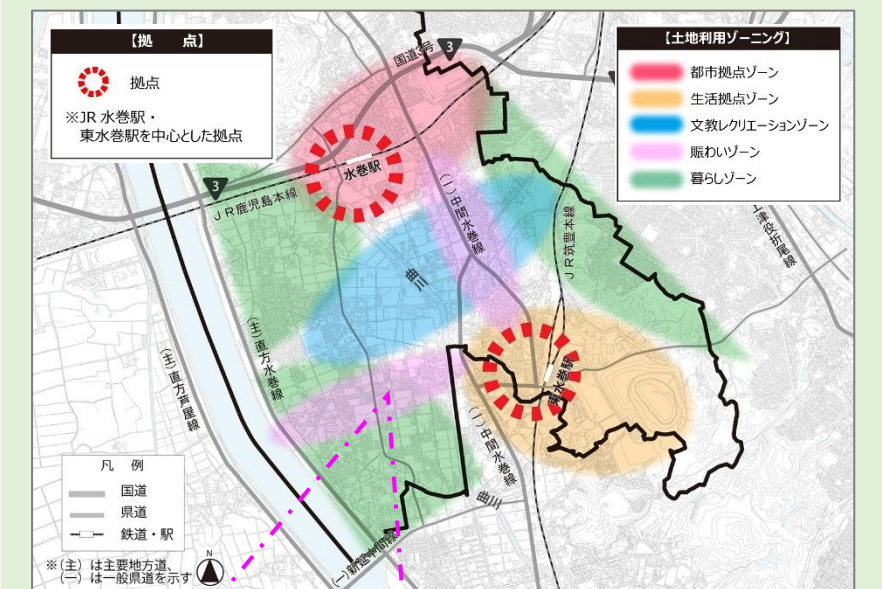
(3) 文教レクリエーションゾーン

南部地域の中央部を対象に、小・中学校、グラウンド、武道館などが集積する地区を文教レクリエーションゾーンに位置づける。なお、当ゾーンは、拠点相互の相乗効果を発揮する拠点間連携の促進機能を有する。

(4) 暮らしゾーン

上記以外を対象に、住居系を主体とした地区を暮らしゾーンに位置づける。

なお、当ゾーンは、住宅系市街地や田園集落地が混在するなか、良質な住環境の形成を図る。



※当賑わいゾーンは、都市計画道路の変更（令和5年12月時点未整備（現道無し））により位置づけされる(一)中間水巻遠賀線であり、遠賀川への渡河橋を含めた計画路線の沿線を対象（「8-3.鉄道・道路」を参照）

▲まちづくり構想：土地利用

8-3. 鉄道・道路

方針①：周辺都市との広域的アクセス性を確保する **鉄道の維持と利便性向上**

⇒JR 水巻駅を有する JR 鹿児島本線、JR 東水巻駅を有する JR 筑豊本線（JR 福北ゆたか線）により、周辺都市との広域的なアクセス性を確保する南部地域において、今後も鉄道の維持と利便性向上に努める。

方針②：利便性・安全性に配慮した **体系的な道路ネットワークの形成**

⇒生活交通と通過交通の分離を図り、利便性・安全性を考慮した幹線道路・補助幹線道路・区画道路等の体系的な道路ネットワークを形成する。  
⇒魅力ある歩きたくなる歩行環境の形成に向けて、沿道土地利用との整合（機能拡充）を図りつつ、賑わい創出やまち並みの調和を考慮するとともに、通りとしての景観的な連続性・統一性を確保した歩行者空間（歩道の設置）を確保する。

(1) 幹線鉄道【広域的な連携交流軸】

鉄道については、JR 鹿児島本線・筑豊本線を幹線鉄道に位置づけ、周辺都市や広域的な移動を確保するとともに、南部地域の内外の連携・交流を図る軸に位置づける。

- JR 鹿児島本線
- JR 筑豊本線

(2) 幹線道路【広域的な連携交流軸】

道路については、鉄道とともに、国道3号・(一)中間水巻線・(一)中間水巻遠賀線・(町)月夜待ヌメリ石線を幹線道路に位置づけ、周辺都市や広域的な移動を確保するとともに、南部地域の内外の連携・交流を図る軸に位置づける。

また、車両に加え、歩行者・自転車等の交通弱者への安全性・移動円滑化を図るよう、歩道・自転車道の整備を検討する。

- 国道3号
- (一)中間水巻線
- (一)中間水巻遠賀線
- (町)月夜待・ヌメリ石線

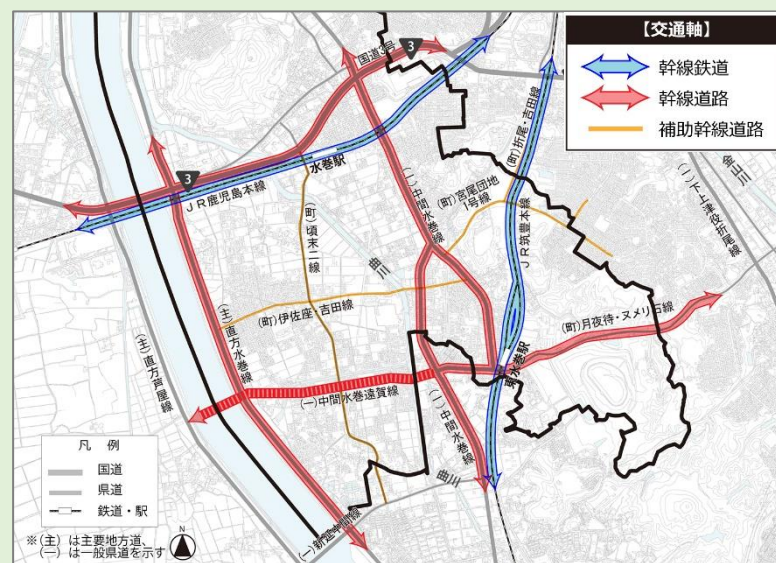
(3) 補助幹線道路

【地域内の連携交流軸】

南部地域内の連携・交流を図るよう、各拠点や主要施設へのアクセス性を考慮した補助幹線道路を位置づける。

また、幹線道路との棲み分けを図り、歩行者・自転車等の交通弱者を優先した道路として位置づける。

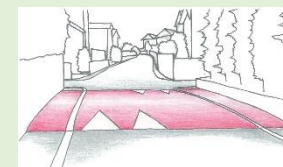
- (町)頃末二線
- (町)伊左座・吉田線
- (町)宮尾団地1号線
- (町)折尾・吉田線



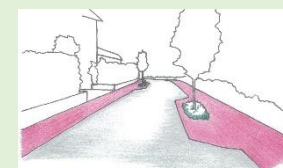
▲まちづくり構想：鉄道・道路

(4) 住宅地・集落地内の生活道路

住宅地・集落地内の道路は、歩行者・自転車等の交通弱者を最優先した生活道路に位置づける。生活道路としての車両による通過交通の排除を図りつつ、歩行者・自転車等の交通弱者への安全性・移動円滑化を図るよう、ハンプやクラック等による物理的デバイスの設置、路側帯や交差点内のカラー舗装化等を検討する。



▲ハンプのイメージ



▲クラックのイメージ



8-4. 公共交通

方針①：南部地域における

**交通結節点としての機能強化**

⇒南部地域の拠点形成を促す玄関口として、JR 水巻駅・東水巻駅における鉄道及びバスの連絡強化を図る交通結節点を形成する。

⇒バス・タクシーの乗入れや自家用車の送迎、駐輪場の設置等、交通結節点として、利用しやすい駅前広場を整備する。

方針②：南部地域に密着した

**サービスの展開**

⇒通勤・通学は、主要な鉄道駅の利用が前提となり、JR 水巻駅・東水巻駅への結節点機能を活用したバス（路線バス・福祉バス・コミュニティバス）・タクシー等の運用を検討する。

⇒バス（路線バス・福祉バス・コミュニティバス）・タクシー等においては、デマンド交通等も視野に入れ、南部地域に密着した交通サービスを展開する。

(1) 交通結節点

①JR 水巻駅（都市拠点）

JR 水巻駅において、南口は駅前広場が整備され、北口は未整備の状況にある。今後、都市拠点を形成する玄関口として、関係機関等との調整を図りつつ、北口駅前広場の必要性も含めた検討を図る。

また、当駅の鉄道運行状況は、快速が通過し、普通列車のみの停車となっていることから、都市拠点に位置づけられる鉄道駅としてのポテンシャル向上と鉄道利用者への利便性向上を図るよう、快速列車の停車を鉄道事業者へ要望していく。

②JR 東水巻駅（生活拠点）

南部地域の生活拠点に位置づけられる JR 東水巻駅において、交通結節点としての機能強化を図るため、駅前広場を整備する。当駅前広場においては、利用者の利便性を向上するよう、バス停留所・タクシー乗降場・駐車場等による各種機能の設置を検討する。

(2) 公共交通幹線軸（鉄道）

南部地域は JR 水巻駅と JR 東水巻駅の 2 つの鉄道駅を有し、それぞれ JR 鹿児島本線・JR 筑豊本線が走っていることで、周辺都市及び広域的な都市間の連携を確保している。これらの鉄道は、持続性が高く、需要増への柔軟な対応や都市間連携を可能とする軸であることから、公共交通の幹線軸として今後も維持を図る。

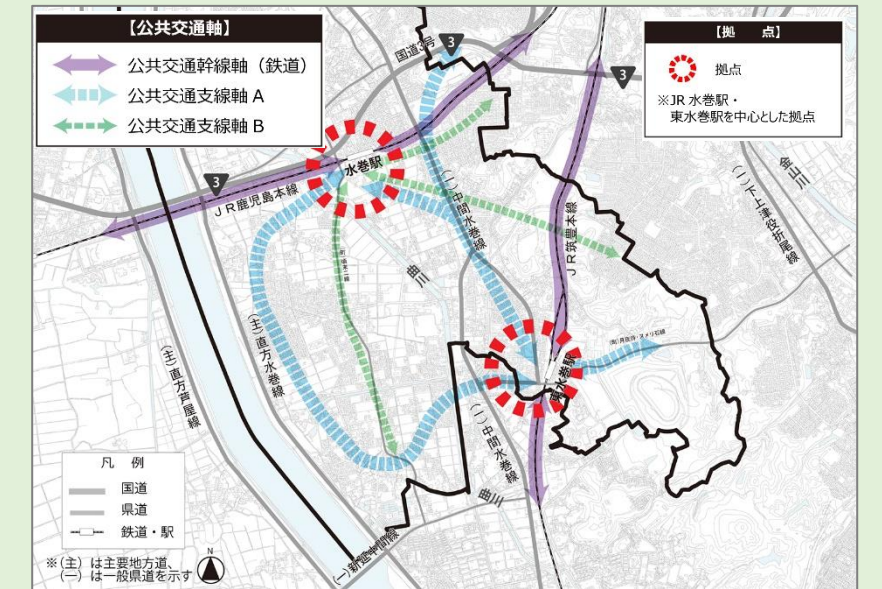
(3) 公共交通支線軸 A（路線バス・コミュニティバス・デマンドバス）

南部地域の住宅地・集落地から、町南部の各拠点・主要施設や町外の折尾方面への連絡を確保するため、公共交通支線軸 A を位置づける。当支線軸は、JR 水巻駅周辺の都市拠点や JR 東水巻駅周辺の生活拠点を經由する路線を設定する。また、住宅地や集落地内では、利便性の向上を図るようフリー乗降の可否を必要に応じて検討する。

(4) 公共交通支線軸 B（コミュニティバス・デマンドバス・デマンドタクシー）

南部地域において、高台地区及び公共交通支線軸 A の利用が困難な地域に居住する高齢者等を対象に、生活の足としての利便性を確保するため、公共交通支線軸 B を位置づける。当支線軸により、各居住地から JR 水巻駅（都市拠点）や JR 東水巻駅（生活拠点）、南部地域内の主要施設への連絡性を確保する。また、住宅地や集落地内では、利便性の向上を図るようフリー乗降の可否を必要に応じて検討する。

※JR 水巻駅については、令和 6 年 2 月現在、駅前広場を整備済（駅前広場に路線バス・福祉バス・タクシー等の乗り入れが可能）



▲まちづくり構想案：公共交通

8-5. 公園・緑地

方針①：地域の交流やふれあいを育てる

**身近な公園整備**

⇒地域の交流、ふれあいを育てる身近な場として、地区住民のニーズと地区特性に応じた利用しやすい公園へ機能を拡充する。

⇒また、遠賀川の河川敷空間の活用・連携を図る。

方針②：まちに潤いを与える

**緑地の保全**

⇒貴船神社周辺や妙楽寺周辺等、各地に点在する緑地については、動植物の重要な生息場所となるとともに、町に潤いを与えるため、保全への取り組みを推進する。

(1) 公園

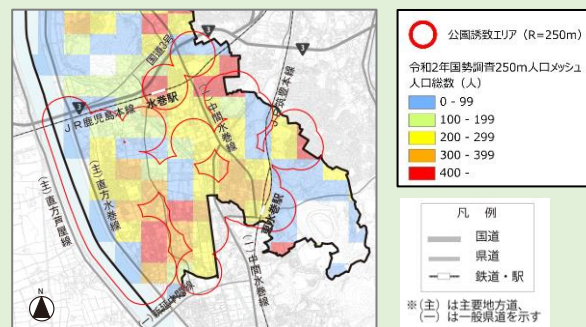
南部地域の公園は、一部、誘致距離（半径 250m）外となる空白地を有するものの、人口が集積する各住宅地・集落地に多数分布し、誘致距離が南部地域を概ねカバーしている。そのため、既存の公園については、現況を保全及び改良を施すとともに、新たな公園については、文教レクリエーションゾーンを対象に、都市拠点（JR 水巻駅周辺）と生活拠点（JR 東水巻駅周辺）を相互に結ぶ交流エリアとして整備を図る。

なお、既存の公園にあたっては、現況の立地状況を保全するとともに、住民ニーズを踏まえつつ、必要に応じて各種の機能や導入する遊具等の改良を行う。

(2) 緑地

南部地域の東部に位置するまとまりのある下記の緑地については、動植物の生息・生育環境として、また町の良好な景観として保全を図る。

- 河守神社周辺
- 貴船神社周辺
- 妙楽寺周辺
- 宮尾台西側の法面



▲既存公園の誘致エリアと人口

8-6. 景観

方針：水巻らしさを活かした

**景観の保全**

⇒遠賀川等による良好な自然景観や、立屋敷遺跡・堀川等による歴史・文化的な景観の保全を図る。



▲堀川



▲遠賀川

・江戸時代につくられ、田畑の用水、物流の水路として機能し、明治に入ると石炭輸送路として重要な運河・岩山を削ったノミ跡「車返の切貫」を有する

8-7. 防災・防犯

方針①：災害発生時を想定した地域防災力の向上

⇒災害による被害を最小限にするよう、道路の改善や地域住民との協働による地域防災力の向上を図る。

(1) 防災力の向上に向けて

避難路の確保（細街路の改善）と自主防災組織の育成による地域防災力の向上を図る。

方針②：道路や公園等への防犯まちづくりの推進

⇒道路（通学路）や公園等において、死角や夜間での安全性を確保するよう、ハード・ソフト面からの防犯性向上を図る。

(2) 防犯性の向上に向けて

道路（通学路）や公園等において、見通しの確保や照明の設置に加え、見守り体制の整備や児童等への安全教育の充実を図ることで、ハード・ソフト面からの防犯性向上を図る。

8-8. その他の公共施設

方針：既存施設等の活用による

**人々の交流と地域活性化**

⇒公共性の高い既存施設の活用により、住民の健康増進や生きがいがづくり、スポーツの振興、医療・福祉の充実等による、南部地域としての機能拡充を図る。

《公共性の高い既存施設》

いきいきほーる、水巻町吉田グランド、水巻町武道館、公民館・集会所、児童クラブ、福祉センター等

※南部地域の居住者だけでなく、地域外の居住者も利用することが可能であることから、地域内・外の人々の交流による賑わい創出にも寄与すると考える。

8-9. 交流・賑わい

方針：祭り・イベント等の実施による賑わいの創出

⇒南部地域の内外や水巻町の内外の人々の交流を図るよう、町が所有する施設を活用し、祭りやイベント等の開催による、賑わい空間を創出・演出する。

南部地域の公園や公共性の高い既存施設等、町の所有施設を活用し、民間事業者等の参入も考慮したイベント・オープンカフェ・マルシェ等の開催により、賑わいの創出と地域の活性化を図る。



資料：水巻町商工会 HP より  
▲水巻まるしえ



■ 9. JR 東水巻駅周辺地区のまちづくりのあり方

・南部地域の生活拠点ゾーンの一部を形成する JR 東水巻駅周辺地区について、鉄道駅を有する玄関口としての拠点整備に向けたまちづくりのあり方を検討した。

《検討対象地区と現況》

JR 東水巻駅の北西に位置する吉田団地及びその周辺地区を対象とする。なお、住替事業が進んでおり、短期的に対応が必要なエリアを「吉田団地 A」、現時点において居住可能ではあるものの建物の老朽化が今後懸念され、中・長期的に対応が必要なエリアを「吉田団地 B」と位置づける。



▲吉田団地 A



▲吉田団地 B

■ 低層・中層集合住宅

中・長期事業エリア

⇒低・中層の住宅地を基本としつつ、必要に応じて、幹線道路（一）中間水巻線）沿線に店舗等の生活利便施設を立地

※短期事業エリアの進捗及び事業後の効果を把握しつつ、当エリアの事業展開（土地利用・事業実施時期等）を検討

■ 駅西口駅前広場整備

短期事業エリア

⇒交通結節点としての機能強化を図る駅前広場を整備

- 駅前広場としてバスの乗り入れが可能なロータリー整備
- 駅前広場へのその他導入機能として、タクシー・自家用車バス、自家用車駐車場、駐輪場を必要に応じて整備
- 鉄道駅の玄関口としてのシーンを演出する景観整備
- 駅前広場と東西自由通路（鉄道駅舎）間のシームレスな空間整備

■ シンボルロード整備

短期事業エリア

《短期事業エリア》

⇒鉄道駅である玄関口に接続するアクセス路（駅前通り）としてシンボルロードを整備

- 駅前通りとして、賑わいや華やかさ、歴史・文化、風格等を演出する景観整備
- 照明、防護柵、植栽・舗装等の統一化を図りつつ、道路空間の機能拡充・質的向上を図る
- サイン・モニュメント等による鉄道駅の存在と鉄道駅へのアクセス路を視覚的に感じる演出・仕掛け

■ 駅舎のシンボル性確保と周辺景観への配慮

中・長期事業エリア

⇒玄関口としての駅舎のシンボル性の確保  
⇒駅舎と周辺景観との調和を図り、駅周辺市街地としての一体的な景観の形成

■ オープンスペース整備

短期事業エリア

⇒地域内及び地域内外の人々の交流空間として、また各種イベント等の活用空間として、オープンスペースを整備

- 各種の祭り・イベント等の活用空間整備
- 隣接するシンボルロードの歩道空間と駅前広場との景観的な一体的空間の形成

※当エリアは、駅西口駅前広場の整備を基本としつつ、その他の主要な導入機能として、下記の 2 タイプによる施設整備を検討

短期事業エリア

■ タイプ I：小規模複合商業施設の整備

⇒生鮮食品が充実したスーパーを核とし、その他専門店を有する複合商業施設

- 事例 A：店舗（スーパー）



- 事例 B：店舗（専門系店舗）



■ タイプ II：医療・福祉施設の整備

⇒子育て支援施設の一環としての産後ケア施設の整備（全国的も立地が少ない）

- 事例 A：産後ケア施設



- 事例 B：高齢者施設



■ 駅東口駅前広場整備

短期事業エリア

⇒交通結節点としての機能強化を図る駅前広場を整備

- 駅前広場としての現況機能の再整理  
※現況機能として確保されるバス停、自家用車駐車場、駐輪場の再整備（再配置）
- 鉄道駅の玄関口としてのシーンを演出する景観整備
- 駅前広場と東西自由通路（鉄道駅舎）間のシームレスな空間整備

■ 東西市街地間の自由通路の活用

短期事業エリア

⇒鉄道駅舎と駅西口駅前広場及び駅東口駅前広場を結ぶとともに、鉄道により分断される東西市街地間の自由通路として、その機能に対するの保存と有効活用

- 鉄道駅舎と駅西口駅前広場及び駅東口駅前広場を結ぶシームレスな空間整備
- 祭り・イベント等による自由通路の活用
- 照明設置や死角改善等により、防犯性向上による安全性の確保

